



地域運営学校 「学ぶ・鍛える・思いやる」

# 自主の庭

八王子市立城山中学校 学校だより

令和7年10月 第7号

みんなで歌うこと

校長 田野倉 教泰

あなたが元気のないときに音楽を聴くとしたら、どのようなジャンルの音楽を選びますか。

元気の出るような音楽を聴いてへこんだ気持ちにエネルギーを注ぐ方法があります。一方で、穏やかな旋律や温かな歌詞でその気持ちに静かに寄り添うという方法もあります。いずれにしても、音楽が人に与える影響は大きいものであると考えます。

音楽の起源は諸説ありますが、人の感情表現や自然界の音の模倣等であったと聞きます。また、中学校音楽科の目標には、音楽の学習をとおして豊かな情操を培うとあります。

これらのことから、中学校までの間に音楽の授業で学んだことを基礎にして、将来社会に出てからいろいろな場面でたくさんの音楽に出会ってほしいと願います。さらに、その出会いの中から、言葉では表現しきれない心の揺さぶりの瞬間がやってきます。そして、その瞬間は人としてより良く生きていこうという気持ちの高揚につながると考えます。

さて、いろいろな場面で触れていますが、「行事は、そこに至るまでの学校生活で積み重ねてきた力を試す場」です。

今回は合唱祭なので、その目的から、2つの視点と4つの要素を示します。

◎ 合唱づくり

- 歌う力・表現する力を伸ばす
- 豊かな感性を育てる

◎ 学級づくり

- 協力と調和の重要性を体験する
- 集団の一員としての存在を互いに認め合う

合唱について私が必ず触れることは、「学級の調和」が大変重要だということです。1学期の体育祭では、個々の力の結束である「学級の団結」が重要としてきました。では、「調和」とは何でしょうか。この言葉を検索してみると、「異なる要素が統一感を持ち、バランス良く組み合わせられている状態を指す」と、あり、「一人ひとりの精一杯」ではないことが分かります。

これらのことから、合唱づくりと学級づくりの取組をとおして、『作詞・作曲者の想いを、今しかないクラスの仲間とともに、単に「声を重ねる」だけではなく、パートとパートが織りなす素敵なハーモニーをステータ上で実感する。また、学年や学校の仲間が創り上げた作品を鑑賞する。』ということを目指してください。

城山中学校は「いちょうホール」で合唱祭を行います。ステージと観客席の距離感も近く、発表者も鑑賞者もお互いの気持ちがそれぞれ届くかな、と考えています。また、どの学年も、入学以降それぞれの個性を生かしながら成長を遂げてきています。あなたや、あなたの学級・学年は、どのように練習に取り組んできましたか。歌声をホールに響かせよう。そして、歌い終わった後でホールに残る「余韻」を全身で味わってほしいと願っています。

がんばれ、城中生